

# にっぽん子育て応援団 2016 年度活動報告

(2016 年 4 月 1 日～2017 年 3 月 31 日)

## 1 重点活動目標の設定

・2015 年 4 月「子ども・子育て支援新制度」が本格スタートした。2012 年度年次総会において設定した重点活動目標の実現に向けて、子ども・子育て支援施策新制度推進の財源確保とともに、家族給付へのさらなる国民の理解を求め、事業の中身、質についての議論を進めていきたい。

・「真の社会保障・税一体改革を通じた子ども・子育て支援の充実を」アピールより

「にっぽん子育て応援団の目標」

すべての子どもたちが、家族の愛情に生まれ、  
また、子ども同士の積極的な関わり合いの中で、  
そして、地域や社会の多くのおとなたちの慈しみの中で、  
心豊かに成長できる環境を保障すること

「目標実現のためのにっぽん子育て応援団のアピール」

1. 子どもと家族を支える質的環境向上のためにさらなる財源を
2. 着実な事業計画の推進を
3. 当事者の声が反映されるしるきを

## 2 啓発活動

・ホームページによる普及啓発活動

公式サイト閲覧総数 918,706 (2017 年 3 月 31 日現在) (2016 年 3 月 31 日現在 772,852)

	28 年度初頭数値	28 年度 3 月 31 日現在
個人サポーター宣言	4633 人	4691 人
企業・団体サポーター	34 社	35 社
NPO・市民団体サポーター	255 団体	266 団体
自治体首長サポーター登録	35 人	36 人

・特に今年度は自治体首長に積極的に働きかけていく。

## 3 調査研究活動

・「平成 27 年度主要自治体の子育て分野における「NPO/市民活動団体との協働に関する調査」

(愛のキャンパ中央助成)

平成 22 年、23 年、24 年に実施した同調査から 3 年。この間に地方版子ども・子育て会議が設置され、事業計画を策定、4 月から推進されている。子ども・子育て支援新制度で最も画期的な意思決定の仕組みといえる地方版子ども・子育て会議での協議による事業計画策定および当事者へのニーズ調査などが、各自治体での NPO との協働にどのような影響を与えたかについて調査を実施、108 自治体から回答を得、調査報告書にまとめた。

・「2016 年参議院選挙 子ども・子育て支援政策に関する政党アンケート」

7 月 10 日投票の参議院選挙に向けて、各政党に子ども・子育て支援政策に関するアンケートを実施、自由民主党、公明党、民進党、共産党、社民党、おおさか維新の会から回答を得、にっぽん子育て応援団公式サイトにアップ、公開した。

設問は次の 3 つ。

設問 1. 貴政党の子ども・子育て支援政策について教えてください。

・国では、少子高齢・人口減少に立ち向かう一億総活躍社会を創出するべく、「戦後最大の名目 GDP600 兆円」「希望出生率 1.8」「介護離職ゼロ」の 3 つの目標を掲げ、これらの的に向けて放つ 3 本の矢のひとつとして「夢をつむぐ子育て支援」を掲げています。貴政党の子ども・子育て支援政策の優先度や本気度をお尋ねいたします。

設問 2-1. 子ども・子育て支援政策の財源確保について教えてください。

・消費税率 10%に引き上げで、子ども・子育て支援施策の量の拡充とともに質の向上にかかる財源も確保できずでした。「新しい判断」のもと、再び 2 年半の引き上げ延長が決まりました。にっぽん子育て応援団は子ども・子育て支援の財源を GDP 比 2~3%への充実を目指して活動してきました。子ども・子育て新制度に必要と言われた 1 兆円の充実はその第一歩と考えていましたが、消費税率の引き上げで確保されるはずだった 7,000 億円ですら危うい状況です。いったいいつになったら 1 兆円確保されるのか、具体的にお聞かせください。

設問 2-2. 子ども・子育て支援政策の財源確保について教えてください。

・子ども・子育て支援政策に必要な財源は、どのように確保すべきだとお考えですか？ 以下の 6 項目のうち、貴政党のお考えに最も近いほうから 3 つ、順番に選んでください。

1. 消費税率を引き上げて社会全体で負担する。
2. 累進課税を強化して、高所得者層が負担する。
3. 法人税率を引き上げて、企業が負担する。
4. 社会保障費の配分を見直して、高齢者が負担する。
5. 社会資本整備・他の公共サービスの経費を削減し、水準を下げる形で負担する。
6. 赤字国債を発行して、次世代が負担する。

・「子ども・子育て支援政策の財源確保の方法についてのアンケート」

政党アンケートと同時に、一般向けにも実施したが、100 通に満たない回答しか得られず、中断。

## 4 情報提供・交流活動

(1) 勉強会等の開催(周年フォーラム、企業・団体サポーター向け講座ほか)

首都圏 4 か所で開催する。

うち 1 回は企業・団体サポーター向け講座とする。

・結成 7 周年記念フォーラム「これから親になる私たちが考える 本当に欲しい子育て支援はこれだ！」  
東京家政大学女性未来研究所との共催事業

2016 年 5 月 22 日(日)13:30~16:30

東京家政大学板橋キャンパス 120 周年記念館 2C 講義室

参加者 100 名 保育 7 名

第 1 部 子ども・子育て 今こんなことが起きている！

牧野歩美さん 東京家政大学家政学部児童学科 3 年生  
岩崎ひかりさん 東京家政大学家政学部児童学科 3 年生  
橋本一委さん NPO 職員  
岡本知子さん 3 歳児の母親  
辻 翔太さん 会社員

第 2 部 子ども・子育て・ライフプラン緊急対策会議

パネリスト: 岩田 力さん 東京家政大学子ども学部長  
堀江 敦子さん スリール株式会社代表取締役  
榊原 久子さん 和光市南子育て包括支援センター施設長  
福島富士子さん 東邦大学看護学部教授  
竹林 経治さん 内閣府子ども・子育て本部参事官  
コーディネーター: 安藤 哲也 にっぽん子育て応援団団長

まとめ 第 1 部登壇者の皆さん

安藤 哲也 にっぽん子育て応援団団長

・企業・団体サポーター交流会(予定)

2016 年度企業・団体サポーター交流会

2月13日(月) 16:30~20:00

一般社団法人中小企業労働福祉協会会議室(川口市本町4-2-3 友愛センタービル4階)

基調講演「イクボスの育て方」

安藤哲也 につぼん子育て応援団団長

厚生労働省勝率支援施策の現況について

白髭かすみさん 厚生労働省雇用均等・職業家庭局職業家庭両立課介護・育児休業推進室長  
パネルディスカッション「働き方も社会も変えるイクボスの育て方」

パネリスト

安藤哲也 につぼん子育て応援団団長

岩田喜美枝 につぼん子育て応援団企画委員

山田正人 につぼん子育て応援団企画委員

コーディネーター

勝間和代 につぼん子育て応援団団長

## (2) メールマガジンの発行

毎月1回発行

## (3) サポーター登録団体用告知ブログおよび「子ども・子育て会議推進応援団」ブログの運営

サポーター団体のイベント等を告知するとともに、国の子ども・子育て会議の傍聴記や 地方版子ども・子育て会議設置の動き、勉強会報告など、国の動きや全国各地の動きを逐次紹介して行く。

## (4) 「NPO 市民活動団体 ML」「わがまちの子ども・子育て会議 ML」の運営

全国のNPO 市民団体の情報交流、地方版子ども・子育て会議に関わる行政マン、NPO など、関心の高い層を集約、情報交流、意見交換の場としてもらう。

(5) 調査、研究プロジェクトなどを通じて得られた情報などの提供を、ホームページや facebook、集会などを通じて行う。また、各活動の知見を活かした交流事業、意見交換会、アピール集会等を開催する。

## 5 政策提言活動

・年に2回(5月および11月ごろ)フォーラム等を開催し、具体的な提案を、政府、自治体、関係団体、市民等に広く提言を行う。

・結成7周年記念フォーラム「これから親になる私たちが考える 本当に欲しい子育て支援はこれだ！」  
東京家政大学女性未来研究所との共催事業(再掲)

2016年5月22日(日)13:30~16:30

東京家政大学板橋キャンパス 120周年記念館 2C 講義室

参加者 100名 保育 7名

第1部 子ども・子育て 今こんなことが起きている!

第2部 子ども・子育て・ライフプラン緊急対策会議

まとめ

・再度の消費税引き上げ延期に向けた緊急要望書

「本当に「夢をつむぐ」子ども・子育て支援実現のための財源確保を求める要望書」を大臣に手交

2016年6月24日 馳浩 文部科学大臣に手交

樋口恵子団長、勝間和代団長、奥山千鶴子企画委員、事務局

2016年7月11日 加藤勝信 一億総活躍大臣兼内閣府特命担当大臣 少子化対策担当に手交

勝間和代団長、奥山千鶴子企画委員、高祖常子運営委員、事務局

## 6 講師派遣活動

・世代、党派を超え、社会が丸一となつて子ども・子育て家庭を応援する社会づくりに向けて、地域、職場での子育てを応援する気運の醸成のため、団長、企画委員、運営委員などによる講師派遣を行う。

- ・6月3日 コンビウヰズ株式会社社内研修 奥山千鶴子企画委員
- ・9月3日 四日市男女共同参画センター設立 20周年企画講演会 椋野美智子企画委員
- ・9月29日 たかまつ子育てフォーラム 事務局 當間紀子
- ・3月8日 盛岡市「子育て応援フォーラム」基調講演 事務局 松田妙子

## 7 地域まるごとケア・プロジェクト活動

・さわやか福祉財団からの委託事業。全世代に向けた地域包括ケア＝地域まるごとケア体制構築に向け、子育て支援コーディネーターの実態把握と、生活支援コーディネーターとの地域連携体制を築ける子育て支援コーディネーター養成と普及に向けた活動を行う。

### ・2016年度の実施スケジュール

- ヒアリング 北海道芽室町 10月6日、7日  
 宮城県仙台市 9月1日、2日  
 神奈川県藤沢市 9月15日  
 愛知県知多市 8月7日、8日  
 岡山県奈義町 8月30日、31日  
 高知県(南国市、土佐町) 8月24日、25日  
 福岡県北九州市 8月23日、24日  
 大分県豊後高田市 8月16日、17日

人材交流研修会「ともに暮らす仲間として、地域でどう支えるか」

北海道北見市「地域でどう支える？ 育児と介護の同時進行 ダブルケア」

10月14日(金)13:30～16:30 北見芸術文化ホール大練習室

話題提供者:北見市保健福祉部次長 大栄一裕さん

につぼん子育て応援団運営委員 高祖常子

後援:北海道オホーツク総合振興局 北見市

協力団体:NPO 法人耳をすませば

参加者:27名 保育:1組

北海道新聞北見版 10月15日付朝刊に開催報告記事掲載

愛知県名古屋市「私たちの手で支え合う地域まるごとケア」

10月23日(日)13:30～16:30 愛知学院大学名城公園キャンパス

キンシャチダイニング

話題提供者:NPO 法人地域福祉サポートちた代表理事 岡本一美さん

ファシリテーター:NPO 法人せたがや子育てネット代表理事

(につぼん子育て応援団事務局)

松田妙子

協力団体:NPO 法人子育て支援の NPO まめっこ

参加者:30名 見守り保育:2組

福岡県福岡市「子どもだけでも受け入れる 地域の居場所」

10月21日(金)18:30～20:30 JR博多シティ 9階会議室 3

話題提供者:気まぐれ八百屋だんだん店主 近藤博子さん

(子ども食堂名付け親)

後援:福岡県

協力団体:NPO 法人ファザーリング・ジャパン九州

参加者 52名 見守り保育:1組

宮城県仙台市「遊び場、お茶会が結び直す 地域のつながり」

11月10日(木)13:30～16:30 仙台エル・ソーラ 大会議室

話題提供者:

認定 NPO 法人冒険あそび場せんたい・みやぎネットワーク理事 根本暁生さん

一般社団法人プレーワーカーズ事務局長 神林俊一さん

NPO 法人全国コミュニティライフサポートセンター

国見・千代田のより処ひなたぼっこ 及び 石巻・開成のより処あがらいいん

チーム長 高橋正佳さん

協力団体:NPO 法人せんたいファミリーサポート・ネットワーク

参加者 27名 保育:2組3名

2016 年度報告会 「支えあいのコミュニティがかたちづくる 地域まるごとケア  
～子ども・子育ても地域みんなの課題です～」  
2017 年 2 月 5 日(日) 発明会館ホール  
開会挨拶:清水肇子 公益財団法人さわやか福祉財団理事長  
基調講演:花戸貴司さん 東近江市永源寺診療所長  
パネルディスカッション:  
西岡敦子さん 医療法人社団仁泉会 西岡医院 子育て支援センター  
安田祐一さん 豊後高田市子育て・健康推進課長  
岡本一美さん NPO 法人地域福祉サポートちた代表理事  
コメンテーター  
定塚由美子さん 厚生労働省社会・援護局長  
コーディネーター  
奥山千鶴子 につぼん子育て応援団企画委員  
閉会挨拶:安藤哲也 につぼん子育て応援団団長  
司会:松田妙子 につぼん子育て応援団事務局  
参加者 135 名 保育:3 組 3 名

## 8 その他の活動

- ・上記事業の推進のために、運営委員会を毎月 1 回、事務局会議を毎月 1 回程度開催した。

## 9 メディア掲載

- ・2016 年 9 月 30 日付 四国新聞 掲載  
「病児保育など高評価 高松で子育てフォーラム 貧困や待機児童対策課題」  
(9 月 29 日に NPO 法人わははネットの依頼により事務局・當間が登壇したシンポジウムの様子を取材、掲載したもの)
- ・2016 年 10 月 15 日付 北海道新聞北見オホーツク版 掲載  
「介護と育児 両立に支援を 北見「ダブルケア」の研修会」  
(10 月 14 日に北見市で開催した地域まるごとケア・プロジェクト地域人材交流研修会 in きたみの様子を取材、掲載されたもの)
- ・2016 年 11 月 1 日発行「広報 たかまつ」1592 号 掲載  
表 4 掲載の市長どっとコム(大西市長のコラム)で、第 4 回自治体アンケート結果を紹介
- ・2016 年 11 月 10 日発行「おやこ DE わはは」Vol.69 掲載  
につぼん子育て応援団の自治体アンケートでトータルポイントが 2 位だった一方で、保育所待機児童数が全国ワースト 9 位ことから企画、9 月 29 日に日開催されたたかまつ子育てフォーラム報告記事を掲載。
- ・2016 年 11 月 12 日付 朝日新聞香川版朝刊 掲載  
「(香川)高松の子育て全国 2 位の評価 市長招き現状語る」  
(9 月 29 日に NPO 法人わははネットの依頼により事務局・當間が登壇したフォーラムの様子を取材、第 4 回自治体アンケート結果とともに掲載されたもの)
- ・2017 年 1 月 23 日付 読売新聞暮らし家庭欄 掲載  
2016 年度地域包括及び子育て世代包括ケア 先進自治体調査報告会  
「家族まるごと、地域のみんなで支えよう！」開催についての紹介記事
- ・2017 年 3 月 1 日発行 地域人 第 18 号 特集「子育てしやすい地域をつくる」32～35 ページに掲載  
(11 月 10 日に仙台市で開催した地域まるごとケア・プロジェクト地域人材交流研修会 in せんだいの様子を取材、掲載されたもの。記事タイトル「地域で暮らす仲間として何ができるかを考えよう」)

## 10 後援名義使用イベントほか

- ・2016 年 6 月 19 日(日)12:00～16:30 昭和女子大学で開催  
第 4 回オレンジリボンフォーラム「親と子を楽しもう」主催:NPO 法人児童虐待防止全国ネットワーク
- ・2016 年 11 月 11 日(金)・12 日(土) 山形国際交流プラザで開催  
ファザーリング全国フォーラム in やまがた 主催:ファザーリング全国フォーラム in やまがた実行委員会  
(NPO 法人ファザーリング・ジャパン、山形県、NPO 法人ファザーリング・ジャパン東北、山形市ほか)
- ・2017 年 2 月 7 日(火)13:00～17:30 イイノカンファレンスセンターで開催  
自治体・企業・NPO による「子育て支援連携事業」全国会議 主催:内閣府

にっぽん子育て応援団 平成28年度会計報告(案)

(H28年4月1日～H29年3月31日)

【収入の部】



科目	予算	決算	一般会計	特別会計	差額
1. 会費収入	1,030,000	870,000	870,000	0	-160,000
2. 賛同金収入	200,000	84,493	84,493	0	-115,507
3. 民間助成金収入	0	0	0	0	0
4. 講師派遣収入	500,000	143,784	143,784	0	-356,216
5. 寄付金収入	200,000	0	0	0	-200,000
6. 事業受託費	4,331,092	4,331,092	0	4,331,092	0
7. 受託事業進行管理収入	2,430,000	2,430,000	0	2,430,000	0
8. 事業受託費 (H27不足分)	0	329,125	0	329,125	329,125
9. 資料代収入	400,000	217,069	206,881	0	-182,931
10. 雑収入	10,000	10,039	10,039	0	39
11. 借入金	0	0	0	0	0
12. 未収収益	0	500,857	0	500,857	500,857
当期収入小計 (A)	9,101,092	8,916,459	1,315,197	7,591,074	-184,633
前年度繰越金(B)	1,607,657	1,607,657	1,607,657	0	0
収入合計(A)+(B)	10,708,749	10,524,116	2,922,854	7,591,074	-184,633

【支出の部】

科目	予算	決算	一般会計	特別会計	差額
1. 借料・損料	350,000	368,080	368,080	0	-18,080
2. 人件費支出	1,500,000	1,660,155	1,660,155	0	-160,155
3. 謝金	100,000	230,000	230,000	0	-130,000
4. 交通費	192,000	177,206	177,206	0	14,794
5. 会議費	16,000	25,920	25,920	0	-9,920
6. 通信運搬費	100,000	98,618	98,618	0	1,382
7. 制作費	0	0	0	0	0
8. 印刷製本費	50,000	9,190	9,190	0	40,810
9. 事務消耗品費	50,000	32,480	32,480	0	17,520
10. 備品費	0	0	0	0	0
11. 助成金事業費	0	425,882	0	425,882	-425,882
12. 受託事業費	6,761,092	4,327,304	0	4,327,304	2,433,788
13. 支払手数料	5,000	5,422	5,422	0	-422
14. 雑費	10,000	21,920	21,920	0	-11,920
15. 業務委託費	300,000	187,540	187,540	0	112,460
16. 予備費	10,000	0	0	0	10,000
17. 未払金	0	272,215	272,215	0	-272,215
当期支出小計 (C)	9,444,092	7,841,932	2,816,531	4,753,186	1,602,160
当期収支差額(A)-(C)	-343,000	1,074,527	-1,501,334	0	1,417,527
次期繰越収支差額 (D)	1,264,657	2,682,184	106,323	0	1,232,894

【監査報告】

上記会計報告書類に関して、平成29年5月9日に監査を行ったところ、  
帳票類もそろっており、相違ないこと承認します。

監事 牧野 カツコ   
 監事 高木 架絵子 

# にっぽん子育て応援団 2017 年度活動計画

(2017 年 4 月 1 日～2018 年 3 月 31 日)

## 1 重点活動目標の設定

- ・2015 年 4 月「子ども・子育て支援新制度」が本格スタートした。2012 年度年次総会において設定した重点活動目標の実現に向けて、子ども・子育て支援施策新制度推進の財源確保とともに、家族給付へのさらなる国民の理解を求め、事業の中身、質についての議論を進めていきたいところであるが、税と社会保障の一体改革として、社会保障の 4 番目の柱として、子ども・子育て・若者支援が仲間入りした。しかし、現行政府は 2015 年 10 月、2016 年 7 月と、消費税の税率を 10%に上げる時期を、2 度にわたり延期すると宣言、子ども・子育て支援の財源確保の道筋がわからなくなってしまった。
- ・今一度原点に立ち返り、社会全体でこどもと子育てを応援する機運の醸成とともに、財源確保とその方策、望ましい保障と負担のあり方などについて、国会議員や有識者、支援者、当事者とともに学び、考えることとしたい。

- ・「真の社会保障・税一体改革を通じた子ども・子育て支援の充実を」アピールより

「にっぽん子育て応援団の目標」

すべての子どもたちが、家族の愛情に生まれ、  
また、子ども同士の積極的な関わり合いの中で、  
そして、地域や社会の多くのおとなたちの慈しみの中で、  
心豊かに成長できる環境を保障すること」

「目標実現のための、にっぽん子育て応援団の中期的重点活動テーマ」

子どもと家族を支える質的環境向上のためのさらなる財源確保  
生活支援のための保険制度および負担のあり方についての検討  
困りごとの受け皿としてのメニューおよび担い手についての検討

☆2017 年度中に、財源をテーマとしたミニシンポジウムを、都内で開催する。

## 2 啓発活動

- ・ホームページによる普及啓発活動

公式サイト閲覧総数 918,706 (2017 年 3 月 31 日現在) (2016 年 3 月 31 日現在 772,852)

	29 年度初頭数値	29 年度末目標値
個人サポーター宣言	4692 人	5000 人
企業・団体サポーター	35 社	38 社
NPO・市民団体サポーター	267 団体	280 団体
自治体首長サポーター登録	36 人	50 人

- ・特に今年度は自治体首長に積極的に働きかけていく。

## 3 調査研究活動

地域まるごとケア・プロジェクトに伴う地域包括及び子育て世代包括ケア先進自治体調査  
全国 8 カ所でのヒアリングを行い、調査内容を報告書にまとめるとともに報告会で発表する。

## 4 情報提供・交流活動

### (1) 勉強会等の開催(企業・団体サポーター向け講座ほか)

首都圏3か所で開催する。

うち1回は企業・団体サポーター向け講座とする。

### (2) メールマガジンの発行

毎月1回発行

### (3) サポーター登録団体用告知ブログおよび「子ども・子育て会議推進応援団」ブログの運営

サポーター団体のイベント等を告知するとともに、国の子ども・子育て会議の傍聴記や 地方版子ども・子育て会議設置の動き、勉強会報告など、国の動きや全国各地の動きを逐次紹介して行く。

### (4) 「NPO 市民活動団体 ML」「わがまちの子ども・子育て会議 ML」の運営

全国のNPO 市民団体の情報交流、地方版子ども・子育て会議に関わる行政マン、NPO など、関心の高い層を集約、情報交流、意見交換の場としてもらう。

### (5) 調査、研究プロジェクトなどを通じて得られた情報などの提供を、ホームページや facebook、集会などを通じて行う。また、各活動の知見を活かした交流事業、意見交換会、アピール集会等を開催する。

## 5 政策提言活動

・年に2回(5月および11月ごろ)フォーラム等を開催し、具体的な提案を、政府、自治体、関係団体、市民等に広く提言を行う。(愛のキャンパ中央助成事業ほか)

## 6 講師派遣活動

・世代、党派を超え、社会が一丸となって子ども・子育て家庭を応援する社会づくりに向けて、地域、職場での子育てを応援する気運の醸成のため、団長、企画委員、運営委員などによる講師派遣を行う。

## 7 地域まるごとケア・プロジェクト活動

・さわやか福祉財団からの委託事業。全世代に向けた地域包括ケア＝地域まるごとケア体制構築に向け、子育て支援コーディネーターの実態把握と、生活支援コーディネーターとの地域連携体制を築ける子育て支援コーディネーター養成と普及に向けた活動を行う。

## 8 その他の活動

・上記事業の推進のために、運営委員会および事務局会議を、毎月1回開催する。

にっぽん子育て応援団 平成29年度収支予算案 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

【収入の部】

単位 (円)

科目	予算	一般会計	特別会計	収入内訳
1. 会費収入	1,060,000	160,000		(団長&企画委員) @10,000円×16人 160,000
		150,000		(自治体首長新規&継続) @10000円×15人 150,000
		150,000		(企業・団体新規) @50,000円×3社 150,000
		400,000		(企業・団体継続) @50,000円×8社 400,000
		60,000		(企業・団体継続) @30,000円×2社 60,000
		140,000		(企業・団体継続) @20,000円×7社 140,000
2. 賛同金収入	200,000	200,000	0	(個人) @1,000円×200人 200,000
3. 民間助成金収入	0	0	0	
4. 講師派遣事業収入	300,000	300,000	0	目標額
5. 寄付金収入	100,000	100,000	0	
6. 事業受託費	4,737,848	0	4,737,848	さわやか福祉財団受託事業見積
7. 受託事業進行管理収入	2,430,000	0	2,430,000	さわやか福祉財団受託事業見積
8. 資料代収入	400,000	400,000	0	春・秋フォーラム
9. 雑収入	10,000	10,000	0	
当期収入小計 (A)	9,237,848	2,070,000	7,167,848	
前年度繰越金 (B)	2,232,827	2,232,827	0	(内、2009年度借入金150万円、2014年度借入金25万円を含む)
収入合計 (A)+(B)	11,470,675	4,302,827	7,167,848	

【支出の部】

科目	予算	一般会計	特別会計	支出内訳
1. 借料・損料	350,000	350,000	0	事務所家賃 (@20,000円×12ヶ月+年間登録料)+会議室使用料ほか
2. 人件費支出	1,700,000	1,700,000	0	事務局・アルバイト人件費 @ (100,000円+10000円×2)×12ヶ月
3. 謝金	100,000	100,000	0	講師謝金
4. 交通費	192,000	192,000	0	事務局交通費 @800円×20日×12ヶ月
5. 会議費	16,000	16,000	0	茶菓・弁当代
6. 通信運搬費	100,000	100,000	0	電話代・郵送・メール/宅配便・サーバー・運搬費
7. 制作費	0	0	0	HP制作費、ロゴマーク商品製作費
8. 印刷製本費	50,000	50,000	0	コピー・リングラフ・印刷費 (パンフレット・封筒)
9. 事務消耗品費	50,000	50,000	0	用紙、プリンタインク・文具等
10. 備品費	0	0	0	
11. 助成事業費	0	0	0	
12. 受託事業費	7,167,848	0	7,167,848	さわやか福祉財団受託事業
13. 支払手数料	5,000	5,000	0	振込み手数料
14. 雑費	10,000	10,000	0	
15. 業務委託費	200,000	200,000	0	HP管理関連 @20,000円×12ヶ月+サーバーレンタル料
16. 予備費	10,000	10,000	0	
当期支出小計 (C)	9,950,848	2,783,000	7,167,848	
収支差額 (A)-(C)	(713,000)	(713,000)	0	
次期繰越収支差額 (D)	1,519,827	1,519,827	0	

## にっぽん子育て応援団の運営体制について

### 1. 団長について

団長は、樋口恵子団長、堀田力団長、安藤哲也団長、勝間和代団長の4名体制とする。

### 2 企画委員について

渥美雅子：弁護士

◎安藤哲也：NPO法人ファザーリング・ジャパン代表理事

岩田喜美枝：財団法人21世紀職業財団会長

奥山千鶴子：NPO法人子育てひろば全国連絡協議会理事長

◎勝間和代：経済評論家

倉田 薫：池田市長

神津里季生：日本労働組合総連合会会長

嶋野道弘：元文教大学教育学部教授

林 文子：横浜市長

◎樋口恵子：NPO法人高齢社会をよくする女性の会理事長・東京家政大学名誉教授  
女性未来研究所所長

◎堀田力：公益財団法人さわやか福祉財団会長・弁護士

棕野美智子：前大分大学教授

村木厚子：津田塾大学総合政策学部客員教授

柳澤正義：独立行政法人成育医療研究センター名誉総長・小児科医

山田正人：「経産省の山田課長補佐、ただ今育休中」著者

吉田恒雄：NPO法人児童虐待防止全国ネットワーク理事長

◎は応援団長（共同代表）

### 3. 運営委員について

奥山千鶴子(NPO法人子育てひろば全国連絡協議会理事長)

\* 高木 梨絵子(日本労働組合総連合会総合政策局・生活福祉局)

高祖 常子(NPO法人児童虐待防止全国ネットワーク理事)

有馬 正史(認定NPO法人さわやか青少年センター理事長)

\* 牧野カツコ(NPO法人高齢社会をよくする女性の会)

高橋 伸夫(NPO法人ファザーリング・ジャパン)

山田 麗子(「遊育」編集長)

\* は監事

### 4. 事務局体制について

當間 紀子 主に企画・広報と渉外および地域まるごとケア・プロジェクトを担当

青木八重子 主に会計業務および地域まるごとケア・プロジェクトを担当

小原 聖子 主にホームページ・ブログ管理等の業務を担当  
松田 妙子 主に勉強会ファシリテーター、イベントの構成を担当

## 5. 運営体制について

- 「役員」とは、団長、企画委員、運営委員を指し、この中から事務局長と監事を選出する。
- 役員総会は、原則年1回開催し、応援団の活動の基本的事項(規約改定、事業計画、予算、事業報告、決算、役員の選任等)について審議する。
- 団長・企画会議は、年4回開催し、子育て応援団の活動の方向性について審議する。
- 運営委員会は、毎月1回開催し、各種事業の企画運営その他について審議する。
  - \* 運営委員会メンバーは、団長、企画委員、運営委員、事務局とする。
  - \* 応援団の機動的運営のため、各種事業の企画運営及び日常の業務運営については、事業計画等で決められた範囲において、運営委員会が決定できることとする。
- 年度途中で事業計画を変更する必要がある場合は、原則として団長・企画会議に諮り、事後に役員総会で報告することとする。